

奈良女子高等
師範學校教授

小川正行先生著

▲四六判三百餘頁
▲箱入願る美本

▲定價二圓五十錢
▲送料十六錢

【成完愈】

郷土の本質と郷土教育

日本に於ける郷土教育原論

完成 三二一

獨塊の文獻を究め日本の實際を説かる。目次の物語る如く根本問題の總てを闡明する。郷土教育を語る者の先づ緝くべき權威書。

次目内容

第一編 緒論

第一章 郷土と人生

第二章 郷土教育の歴史的發展

第三章 最近に於ける郷土教育運動の盛

第一節 社會的精神的原因

第二節 教育的心理的原因

第四章 郷土教育に對する誤解及反對論

第二編 郷土教育の理論

第一章 教育的郷土の概念

第二章 自然的空间的解釋

第一節 歷史的社會的解釋

第二節 郷土教育の目的根據

第三章 郷土教育の心理學的根據

第四章 郷土教育の論理學的根據

第一節 原始的郷土觀

第二節 據 據 據

第三節 歷史的社會的郷土感情

第三編 郷土教育の實際

第一章 郷土教育に關する獨地諸國の法

第二章 規 論

第二章 郷土教育に關する教育社會の興

第三章 論

第一節 教育の手段としての郷土

第二節 獨立教科としての郷土科

第四章 教授原理としての郷土主義

第五章 各科に於ける郷土教育

第六章 郷土教育の實際的施設

附錄 最近に於ける學校訓練の中心問題

【版五忽】

郷土教育の實際的研究

愛知縣第一師範學校 附屬小學校 主事 文學士 眞野常雄先生著 四六判美本・定價二圓八十錢 四〇〇頁・送料十六錢

▲二十五箇年間の大研究の實際記録

▲小川正行先生「實際的良書」として斷然頭角を抜くと激賞推薦される

▲系統的實際的の郷土科施設と活用

▲自然科・郷土地理・郷土史・各科の郷土化・郷土讀物等施設と活用を示す

▲學級經營案と郷土教育諸問題闡明

▲郷土教育を根本に置く各學年の學級經營法を初め其の他の諸問題詳示

發兌

東洋圖書株式會社發行

東京 大阪

東京市神田區錦三丁目九番地・振替東京一〇三七番
大阪市南區安内寺堂一丁目八番地・振替大阪九三六番

文理科大學教授
文學博士

檜崎淺太郎・畫家
上坂雅之助 共著

定價 參圓五拾錢
送料 貳拾七錢

最新刊

子供の繪の觀方と育方

一名(圖畫教育革新論)

圖畫教育は兒童の個性を生かす上に重大なる使命を有てゐる。しかして繪を育てるには先づその畫を観るの道を確認し、更にその生れる過程を探り、畫識を突きとめその發達を明かにせねばならない。本書は、かゝる教育上の中心問題に對する最初の貴重なる解決である。即ち一人の兒童の一歳半より六歳に達する迄の作品中約二百枚を選擇し、これに兒童の父である上坂畫伯がその専門的見地より對圖畫教育の意見を附し、更に當代個性教育の最高權威檜崎博士が心理學の立場より之に解釋を試み、これが教育法を設定し、その上、兩氏が協力吟味の結果、殆どその完璧を期し得るまで洗練して完成されたものである。著者は其の序に言つて居られる。

「六年の間に現はした彼の自發的創作、自發的發展の偉大さには驚かざるを得ない。しかし、これはこの子にのみ限るのではない。全國の全兒童は多少の相違こそあれ、この子と等しく或はこの子以上に畫の素質を生れながらに持つてゐるのである。

この地金にも比すべき素質を名刀たらしむるのは、一に賢明なる教師、父兄の手腕であり、同時に兒童の保護にあたるすべての人々の責務ではあるまいか、しかして、本書こそこれらの人々の唯一の正しき指導者であり親切なる相談相手である。本書の出現によつて從來圖畫教育の根本的缺陷と言はれてゐた理論と實技の不統一は遺憾なく結びつき、兩者相携へて統一ある研究を遂行し得、兒童の畫の發達の研究は勿論、これに伴ふ偉大なる個性の伸展を計り得るであらうことを確信し、圖畫教育に關係ある者は勿論、廣く世の賢明なる教育家並びに家庭の父兄に其の必備を切に推奨したい。

振替電話 東京 八四四番
一三三八番

藤井書店

東京 神賀 田町